

函館市元町末広町(北海道)

(1) 保存地区の概要

地区名	函館市元町末広町
種別	港町
面積	約14.5ヘクタール
選定年月日	平成元年4月21日

特徴

函館市元町末広町伝統的建造物群保存地区は、函館山山麓から港へ向かう斜面地に位置し、わが国最初の貿易港の1つとして開港した港町である。

開港以来、諸外国文化が流入したことにより、領事館、教会などの洋風建物や函館特有の和洋折衷様式建物が数多く建てられ、現在もその多くが当時の姿を残し、異国情緒豊かな町並み景観を形成し、「函館発祥の地」として市民共有の貴重な財産となっている。

(2) 保存地区のあゆみ

昭和57年度(1982)	・函館市西部地区伝統的建造物群調査
昭和63年度(1988)	・伝統的建造物群保存地区(約14.5ヘクタール)の指定(都市計画決定)
平成元年度(1989)	・重要伝統的建造物群保存地区に選定 ・伝統的建造物群保存地区保存事業の創設
平成2年度(1990)	・函館市伝統的建造物群保存会の設立
平成5年度(1993)	・函館市元町末広町伝統的建造物群保存地区内における建築基準法の制限の緩和に関する条例の制定 ・指定建造物等防寒改修事業の創設 ・指定建造物等取得資金利子補給の創設
平成16年度(2004)	・函館市伝統的建造物群保存会が主催する「でんけんコンサート」の開催
平成27年度(2015)	・伝統的建造物を良好な状態で後世に引き継ぐため、建造物の現況を調査し、維持修繕方法・継承等について、所有者等への助言を行う「歴史的建造物保全調査」の実施 ・函館市景観整備機構の指定
平成28年度(2016)	・指定建造物等活用支援事業の創設 ・伝統的建造物群保存地区保存事業に伝統的建造物の耐震対策を助成の対象とする

(3) 保存地区の保存と整備

○伝統的建造物群保存地区保存事業

平成27年度	修理事業	4件
	復旧事業	1件
平成28年度	修理事業	4件
	修景事業	1件
	復旧事業	1件
平成29年度	修理事業	4件
平成30年度	修理事業	7件
令和元年度	修理事業	2件

平成元年度～	修理事業	163件
令和元年度	修景事業	11件
累計	復旧事業	15件
	管理事業	4件

○修景事業の例(新築)



○修理事業の例



○復旧事業の例(石垣)



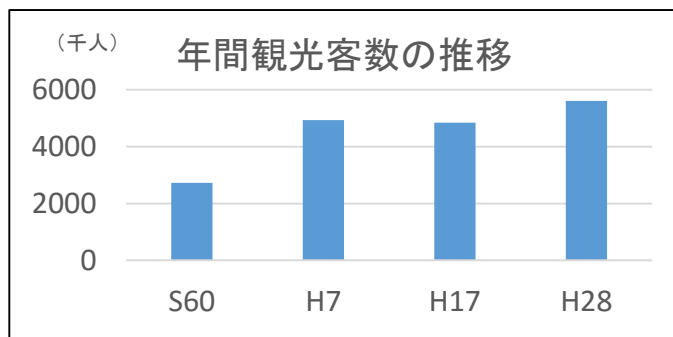
○管理事業の例(説明板)



(4) 保存地区の活用とまちづくり

○伝統的建造物の活用による賑わいの創出

重要伝統的建造物群保存地区に選定後、金森倉庫群や函館ハリストス正教会復活聖堂周辺地区に存する伝統的建造物を保存・活用することにより、魅力的な町並みが形成され、観光客数の増加に繋がっている。また近年、空家状態であった伝統的建造物を店舗等の商業施設とするリノベーションが盛んに行われ、地区内に新たな賑わいが生まれている。



○指定建造物等活用支援事業による活用

伝統的建造物を活用するため、所有者からの意見をもとに効果的な補助制度を創設し、これまで補助対象外であった小規模な外観改修や、内部改修に対応できる制度として活用を促進している。

○指定建造物等活用支援事業の例

・小規模な外観改修



・内部改修(事務所から飲食店へ)



(5) 住民等の取組

○保存会の活動

函館市伝統的建造物群保存会 副会長 陳 有崎

当保存会は、伝建所有者を主なメンバーとして構成されており、建物維持や活用を通じて伝建地区の魅力を広く市民に伝えるとともに保存協力を呼びかけています。

保存会の活動としては、「でんけん」という会報誌を毎年発行し、また秋には伝統的建造物であるカトリック元町教会の聖堂を会場に有料のコンサートを開催し、毎回200名もの市民を迎えています。

会報の作成は市内の大学に依頼し、編集作業の中で会員と学生との交流がなされ、互いに良い刺激になっています。

会報の発行費用は、市民や市内の企業からの寄附やコンサートの収益で賄っており、コンサート開催の重要性は収益ばかりでなく、当日の会場運営に会員が参加することで結束を深める一助となっています。



○伝統的建造物の再生

合同会社富樫雅行建築設計事務所 富樫 雅行

平成29年に、2件の伝統的建造物の再生に関わりました。1つは大正10年に建築された「旧仁壽生命函館支店および同附属土蔵」で、事務所から商業施設へとリノベーションし、新たな西部地区の拠点として賑わいが生まれています。

もう1つは、明治42年に建築された「北昇電機株式会社」は、外観を建築当時の姿に復原し、内部をリノベーションすることにより、新たに「箱館カネサ佐々木邸」として生まれ変わりました。

これからも、伝統的建造物を再生し、伝建地区の保存と活用を担っていきたいと考えています。

○伝統的建造物の公開

はこだて町並み資料館 寺下 浩二

はこだて町並み資料館は、大正11年に建築された伝統的建造物である「旧三浦家住宅」の一部を公開しており、建物を通じて函館の町並みを知ってほしいことから平成27年に開館しました。

資料館には全国の伝建地区資料や写真のほか、明治15年に撮影された西部地区の町並み写真屏風を展示しています。

観光で歩き疲れたときや、ひと息つきたい時には寄ってもらい、函館らしい雰囲気を楽しんでほしいと思います。